

平成21年度局配分枠予算について

教育委員会

1 局配分枠予算編成に当たった考え方

教育委員会では、新しい時代を拓く子どもたちに「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」を育む学校教育と、世代を超えて地域で学び合う生涯学習において、全国をリードする教育改革に取り組んでいる。

21年度においても、厳しい財政状況のもと、すべての事業経費をゼロベースから見直すとともに、正規職員が実施している業務の嘱託化・職員数削減などの効率化を進めながら、幅広い市民ボランティアや大学、経済界等の参画のもと、さらなる教育改革の推進と、京都創生策などの本市基本計画をふまえた事業展開を図る予算案とした。

2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

<新規事業>

子どもを共に育む親支援プログラムの策定・実践	3,000 千円
日吉ヶ丘高校「国際コミュニケーション科」新設	2,000 千円
「まち道場」創設	500 千円
地下鉄駅等への図書返却ポスト（窓口）の設置	400 千円

<充実事業>

サイエンス・コラボ・ティーチャー配置拡大	全体事業費 40,000 千円（うち充実分 17,200 千円）
放課後まなび教室全小学校区実施	全体事業費 414,557 千円（うち充実分 181,279 千円）
長期宿泊・自然体験推進事業	全体事業費 18,700 千円（うち充実分 2,300 千円）